

## 高温でも着色の良い切り花ハボタン品種「冬うらら」

### 1 背景・目的

切り花ハボタンは、秋以降の低温により着色する。しかし、白系の主力品種である「晴姿」は、秋の気温が高い年に着色が遅れ、出荷期に安定した着色が得られない事例があり問題となっている。そこで、安定した着色を示す有望品種を選定する。

### 2 技術のポイント

- (1) 「冬うらら」は 10～11 月の気温が平年より高い年でも、慣行品種の「晴姿」より早く着色するため（図 1、2）、出荷期に安定した着色が得られる（図 3）。
- (2) 「冬うらら」は「晴姿」よりも切り花長および着色径が大きく（表）、品質が高い。



図 1 11月下旬の着色程度  
左：冬うらら、右：晴姿  
※2024年11月26日撮影

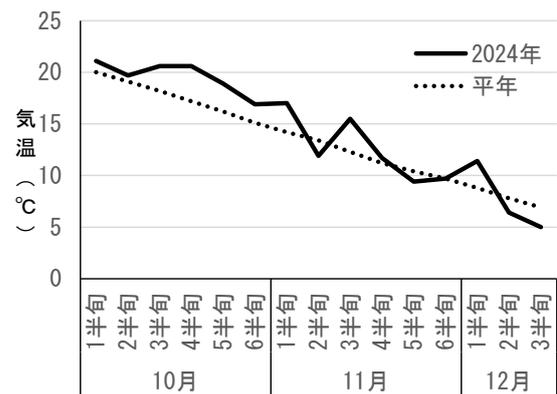


図 2 着色時期の平均気温  
(アメダス金沢)



図 3 出荷期の外観  
左：冬うらら、右：晴姿  
※2024年12月17日収穫

表 白系品種の切り花品質

品種名	切り花重 (g)	切り花長 (cm)	茎径 (mm)	株径 (cm)	着色径 (cm)
晴姿 (慣行)	67.9	52.0	11.2	10.4	4.7
冬うらら	79.3	61.6	10.8	11.6	6.7
有意性	ns	*	ns	ns	*

t-検定により\*は5%水準で有意差あり、nsは有意差なし

### 3 成果の活用と留意点

- (1) 「冬うらら」は着色部の境目がぼやける色戻りが一部に見られるが、軽度にとどまり実用上問題ないと考えられる。

問合先：園芸研究部 野菜・花きチーム TEL 076-257-6911  
担当者：宮下 奈緒・安藤 耕介